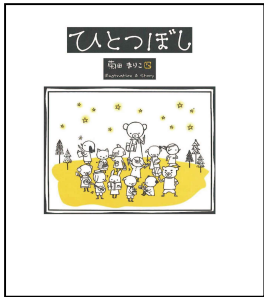




人権教室用教材一覧表☆小学校用☆

札幌人権擁護委員協議会（2025.12.1更新）



★所要時間は、各校が予定している授業時間に合わせます。


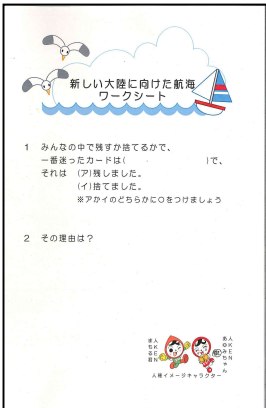
No.	教材・対象学年	内容・実施の流れ	ねらい
1	<p>紙芝居 「ひとつぼし」</p> <p>対象 幼稚園児 小学生1年生</p> 	<p>内容 どの子も持っている輝かしい星。でも、一人一人みんな違う一つ星で、光り出すときも、光り方も様々です。 臆病で、弱虫で、先生の後ろに隠れてばかりのそらくんの一つ星は、どんなかしら…？</p> <p>実施の流れ (導入) 人権の話 (展開) ①紙芝居上演、②話合い、③それぞれの一つ星を発表する。</p> <p>※上記実施の流れは一例であり、参加児童数、所要時間等によって変わります。</p>	<p>「みんな笑顔だと幸せだね。仲良しは楽しいよ！」という気持ちを感じてもらい、自分を大切にし、相手を思いやる豊かな心を育てる。</p>

No.	教材・対象学年	内容・実施の流れ	ねらい
2	<p>DVD 「みんな友だち」</p> <p>対象 小学1・2年生</p> 	<p>内容 自分のことをペンギンとは知らないプウは、自分も鳥の仲間だと思い込んで飛ぶ練習をしますが飛べません。かもめたちに、からかわれいじめられたプウは、飛べるようになりたいので、崖から飛ぶ練習をして海に落ちてしまいますが、そこで泳げることに気がつきます。ある嵐の日、プウは、家に戻らないかもめを泳いで探しに行きます。</p> <p>実施の流れ (導入) 人権の話 (展開) ①DVDの視聴、②内容の振り返りと話し合い、③気付いたこと、考えたことを発表し共有する。</p> <p>※上記実施の流れは一例であり、参加児童数、所要時間等によって変わります。</p>	<p>仲良しであることは楽しいことに気付いてもらい、自分を大切に、相手を思いやる豊かな心を育てる。</p>
3	<p>読み聞かせ 「オウエンとムゼイ」</p> <p>対象 小学2年生</p> 	<p>内容 洪水・津波で、仲間や家族と離ればなれになり、ひとりぼっちになった赤ちゃんカバのオウエンは、ホーラーパーク自然保護動物園に保護される。そこで130歳のカメ・ムゼイに出会い、今までの不安、恐怖、餓えが取り除かれていく…。違った動物の友情物語が、2004年から今もなお、継続・発展している実話です。</p> <p>実施の流れ (導入) 人権の話 (展開) ①本の読み聞かせ、②ワークシートに意見を記入、③意見発表</p> <p>※上記実施の流れは一例であり、参加児童数、所要時間等によって変わります。</p>	<p>つらい時、さみしい時の気持ちを分かり合える心の成長を目指し、周りのお友だち・家族を大切に思う心を育てる。</p>

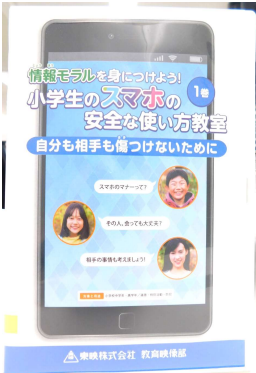
No.	教材・対象学年	内容・実施の流れ	ねらい
4	<p>紙芝居 白い魚とサメの子</p> <p>対象 小学2年生</p> 	<p>内容 他の魚に比べて泳ぐのが遅く、カラフルでもなく、話をするのも苦手で、いつも他の魚たちからいじめられていた白い魚。「僕なんかサメに食べられちゃえばいいんだ…」と思います。でもお母さんにさとされ、自分を変える努力を始めます。それでもやっぱり、白い魚はひとりぼっちのまま…。そんな時、突然嵐がきて…。いじめられっ子の白い魚が、母親や夢の中で出会ったリュウから勇気をもらって、いじめた魚たちを嵐から助けるというストーリーを通じて、いじめのない思いやりの心を学びます。</p> <p>実施の流れ (導入) 人権の話 (展開) ①紙芝居の上演、②内容の振り返りと話し合い、③気づきのワークシート記入と発表</p> <p>※上記実施の流れは一例であり、参加児童数、所要時間等によって変わります。</p>	<p>自己肯定感を高めることを目指し、自分に自信を持ち、まわりのお友だちを大切に思う心を育てる。</p>
5	<p>紙芝居 「ずっとともだちでいたいから」</p> <p>対象 小学2年生</p> 	<p>内容 三羽のカラスは、スズメと遊ぶ仲間のカラスがうらやましいのですが、それをうまく伝えることができず、スズメを「小さい＝弱いもの」として、理由なくからかったり、いじめたりします。スズメは、理由のないいじめに悩み傷つきますが、「ずっと、ともだちでいたい」という思いから、自分の気持ちをはっきりと伝えます。また、三羽のカラスは、いじめの認識がなく遊びの延長であっても、他人を傷つけてはいけないことに気づきます。</p> <p>実施の流れ (導入) 人権の話 (展開) ①紙芝居の上演、②内容の振り返りと話し合い、③考えたことの発表</p> <p>※上記実施の流れは一例であり、参加児童数、所要時間等によって変わります。</p>	<p>遊びのつもりでも、相手が嫌だと思えることをすればいじめにつながることを理解させ、「相手の気持ちになって思いやる心」の大切さを感じとってもらう。</p>

No.	教材・対象学年	内容・実施の流れ	ねらい
6	<p>紙芝居 「かおりちゃん がんばれ！」</p> <p>対象 小学3年生</p> 	<p>内容 キックボールのチームには、体が弱くて上手く走れないかおりちゃんがいます。哲夫君はチームの人数を増やしてほしいと先生に言いますが、先生は、みんなで頑張ろうと提案します。かおりちゃんのために一人ひとりが頑張ることを決めたチームメイト、人一倍頑張っ て練習したかおりちゃん、チームのみんなは一人ひとり頑張ったうれしさでいっぱい です。</p> <p>実施の流れ (導入) 人権の話 (展開) ①紙芝居の上演、②内容の振り返りと話し合い、③かおりちゃん宛てに書いた手紙の発表</p> <p>※上記実施の流れは一例であり、参加児童数、所要時間等によって変わります。</p>	<p>相手への思いやりやいたわりの気持ちの大切さを気づかせる。 一人ひとりが、自分のためではなく、相手のため、みんなのために頑張ることの大切さに気づかせる。</p>
7	<p>DVD 「勇気あるホタルととべないホタル」</p> <p>対象 小学3年生</p> 	<p>内容 羽が縮んで生まれてきたために飛べないホタル、そのホタルを励まし助け合うホタル、体の不自由な妹のためにホタルを取りにやってきた姉と弟。ホタルと子どもたちとのふれあいを通して、やさしさと思いやりの大切さについて考えます。</p> <p>実施の流れ (導入) 人権の話 (展開) ①DVDの視聴、②話し合い、③登場するキャラクターの気持ちを整理する、④発表</p> <p>※上記実施の流れは一例であり、参加児童数、所要時間等によって変わります。</p>	<p>①勇気ある行動、②やさしさ、③思いやりの心、④助け合い、励まし合いの心の大切さを考える。</p>

No.	教材・対象学年	内容・実施の流れ	ねらい
8	<p>紙芝居 「わたしのせいじゃない」</p> <p>対象 小学4年生</p> 	<p>内容 クラスで一人の男の子が泣いています。同級生はそれぞれ「わたしのせいじゃない」といいつつ行動し、泣いてる子が「どうして泣いているのか」ということは考えていません。 「わたしのせいじゃない」と言えば何をしてでも良いの？ ※絵本「わたしのせいじゃない・せきにんについて」(レイフ・クリスチャンソン著)を使ったワークショッププログラムです。</p> <p>実施の流れ (導入) 人権の話 (展開) ①紙芝居の上演、②ワークシートに意見を記入、③意見発表</p> <p>※上記実施の流れは一例であり、参加児童数、所要時間等によって変わります。</p>	<p>自分を大切にする心、相手を思いやる豊かな心を育てる。 人それぞれに、感じ方、考え方に違いがあることを理解する。</p>
9	<p>DVD 「みつけた！」</p> <p>対象 小学4年生</p> 	<p>内容 思ったことを上手く表現することが出来ない内向的な性格の坂本さんは、クラスメートから無視されていた。クラスメートは、坂本さんを飼育委員長にし、ウサギの世話を押しつける。 ある日、坂本さんは病気で学校を休み、仕方なく、ウサギの世話をするようになったクラスメートは、これまで坂本さんが一人でしてきた仕事の大変さに気づき、坂本さんに対する思いや見方が変わり始める。</p> <p>実施の流れ (導入) 人権の話 (展開) ①DVDの視聴、②登場人物が気づいたことをワークシートに記入、③発表</p> <p>※上記実施の流れは一例であり、参加児童数、所要時間等によって変わります。</p>	<p>自分を表現することの大切さ、お互いを認め合うすばらしさを知るとともに、相手を思いやる豊かな心を育てる</p>

No.	教材・対象学年	内容・実施の流れ	ねらい
10	<p>DVD 「ことばの暴力」</p> <p>対象 小学5年生</p> 	<p>内容 美羽が学校から帰ると、腰を痛めた祖父が来ていて、美羽の部屋を使うことになった。自分の部屋を取られた美羽は面白くない。もたもた行動する祖父を見て「邪魔」と声を荒げ、学校でもイライラ的美羽は、友だちにつらく当たる。そんな美羽は仕返しを受け、言われた言葉が刃物のように美羽の心を傷つける。</p> <p>実施の流れ (導入) 人権の話 (展開) ①DVDの視聴、②話し合い(相手を傷つける言葉、思いやりのある言葉の共有)</p> <p>※上記実施の流れは一例であり、参加児童数、所要時間等によって変わります。</p>	<p>相手の気持ちを考えずに使用する言葉は、相手を傷つけ、いじめに発展することがあることを認識させ、相手を思いやる豊かな心を育てる。</p>
11	<p>グループワーク 「新しい大陸に向けた航海」</p> <p>対象 小学5年生</p> 	<p>内容 新しい大陸で、新しい国を創るために、持っていく物の優先順位を決めなければなりません。自分らしく成長し、みんなが幸せを感じる国創りに必要な物は何かをグループで話し合います。</p> <p>実施の流れ (導入) 人権の話 (展開) ①目的・ルール説明、②グループごとに優先的に新大陸へ持って行く物の検討、③発表、感想等</p> <p>※上記実施の流れは一例であり、参加児童数、所要時間等によって変わります。</p>	<p>日常生活において、自分のことだけではなく、他人のことでも考えて行動することのきっかけとしてもらうとともに、一人一人の意見の違いを認め合い、尊重する意識を育てる。</p>

No.	教材・対象学年	内容・実施の流れ	ねらい
12	<p>DVD 「友だちの声が聴こえる？ ～本当の思いやり～」</p> <p>対象 小学6年生</p> 	<p>内容 手足の不自由な男の子・冬馬が転校してくる。面倒見の良い葉月は冬馬の役に立つようになるが、そのたびに冬馬は複雑な表情になる。 冬馬は家に迷い込んだカブトムシを安全な森に返そうと、仲良くなった大輝達と森へ向かう。森の中でつまづいた冬馬を助けようとしないう大輝達のことを葉月は責める。葉月は「友だちだから冬馬の気持ちが分かるんだよ」と言われるが、この言葉の意味が分からない。</p> <p>実施の流れ (導入) 人権の話 (展開) ①DVDの視聴、②本当の思いやりとは何かについての発表及び話し合い</p> <p>※上記は一例であり、参加児童数、所要時間等によって変わります。</p>	<p>相手の心の声に耳を傾けることの大切さ、好ましい人間関係(理解し合える関係、認め合う関係、協力し合う関係、尊重し合う関係)を考える。</p>
13	<p>グループワーク 「ダイヤモンドランキング」</p> <p>対象 小学6年生</p> 	<p>内容 与えられた項目をランキング付けします。最初に個人で考え、その後、グループに分かれての意見を交換し、グループでランキングを完成させます。 グループ発表においては、簡単に決まった項目、決まらなかった項目などを理由を含めて発表します。</p> <p>実施の流れ (導入) 人権について考える。 (展開) ①概要、進め方の説明、②個人での作業、グループでの作業、③グループ発表、④気付いたこと、学んだことの振り返り</p> <p>※上記実施の流れは一例であり、参加児童数、所要時間等によって変わります。</p>	<p>グループ討議、発表へと進めていく過程で、自分の考えを確認した上で、他人の意見から学んだり、気付くことがあることを知り、お互いの考えを尊重しながら、話し合いにより折り合いをつけて物事を決めることを学ぶ。</p>

No.	教材・対象学年	内容・実施の流れ	ねらい
14	<p>DVD 「小学生のスマホの安全な使い方教室」 自分も相手も傷つけないために</p> <p>対象 小学6年生</p> 	<p>内容 公園で「そうた」がスマホをいじりながらあるいていたところ、「はるか先生」とぶつかってしまいます。「歩きスマホはダメ」と注意された「そうた」は「この怒られているところを一枚…」と、「はるか先生」とのツーショットを勝手に自撮りします。スマホのマナーがわかっていない「そうた」と「ゆい」に「はるか先生」はスマホの安全で正しい使い方を教えていきます。</p> <p>実施の流れ (導入) 人権の話 (展開) ①DVDの視聴、②話合い(相手を傷つける言葉、思いやりのある言葉の共有)</p> <p>※上記実施の流れは一例であり、参加児童数、所要時間等によって変わります。</p>	<p>情報モラル(相手の気持ちを考える・ルールを守る)を身につけることが、スマホやネットの安全な利用につながることを、こどもたちに理解させる。</p>